

「笑顔」と「わくわく」があふれる楽しい学校

わくわく通信

NO.7 令和7年7月7日

北広島町立大朝小学校長 大丸 哲男

「わくわく学校」で、楽しく 学び合う子どもたち

統合1年目を迎えた本校は、7月3日に広島県教育委員会および北広島町教育委員会による学校訪問が行われました。この訪問では、各担任による愛情あふれる授業や子どもたちが安心して学べる環境が高く評価されました。また、統合のシンボルとしての「紅白米プロジェクト」の取組も好評を得ました。

授業参観では、全学年を通じて子どもたちの学びへの意欲と成長が印象的でした。紙面の都合上、3学年に絞って授業の様子を紹介いたします。

【1年生の学級活動】

「時間を守るためには？」という学級会で、司会役の子どもたちが堂々と進行し、まるで小さなリーダーのようでした。

ペアで活発に意見を交わし、元気いっばいに発言する姿は『本当に1年生？』と感心する声上がるほどでした。入学後わずか3か月で見たその成長には驚きました。



【2年生の算数】

「水のかさの単位」についての授業では、10 デシリットルが 1 リットルになることを具体的に目で見て学べる場面がありました。

デジタル端末ではなく、担任が 1 リットルますに 1 デシリットルずつ色水を入れていく実演は、子どもたちの理解をより深めただけでなく、学びの楽しさを伝えていました。子どもたちが前のめりになって学習する姿に感動しました。



【5学年の算数】

「小数の倍」についての授業では、子どもたちがノートを丁寧にまとめ、適用問題に真剣に取り組む姿が見られました。

教え合う場面では、自然なやりとりを通じて学びを深め、クラス全体に温かい連帯感が広がりました。

その姿は、来年度 6 年生として頼もしいリーダーになる可能性を感じさせるものでした。



【次号予告】

「大朝小学校の自慢で地域貢献！！」

